

但馬管内の景気動向調査

2022年4～6月期実績・2022年7～9月期見通し

調査の概要

1. 回答数: 473 (前回: 462)
 2. 調査時点 2022年6月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法: ディフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)－「減少」(悪い)の構成比の差＝
判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数473 前回462）

今回(2022年4～6期)の業況D.I.は△24.4となり、全国△19.9を下回った。業種別では、不動産業を除く5業種で改善した。前四半期比では13.6となり、四半期ぶりの改善であった。また、項目別では、売上額D.I.・収益D.I.がともに上昇している業種が多く見られ、収益D.I.の上昇のほうが大きい傾向にあった。

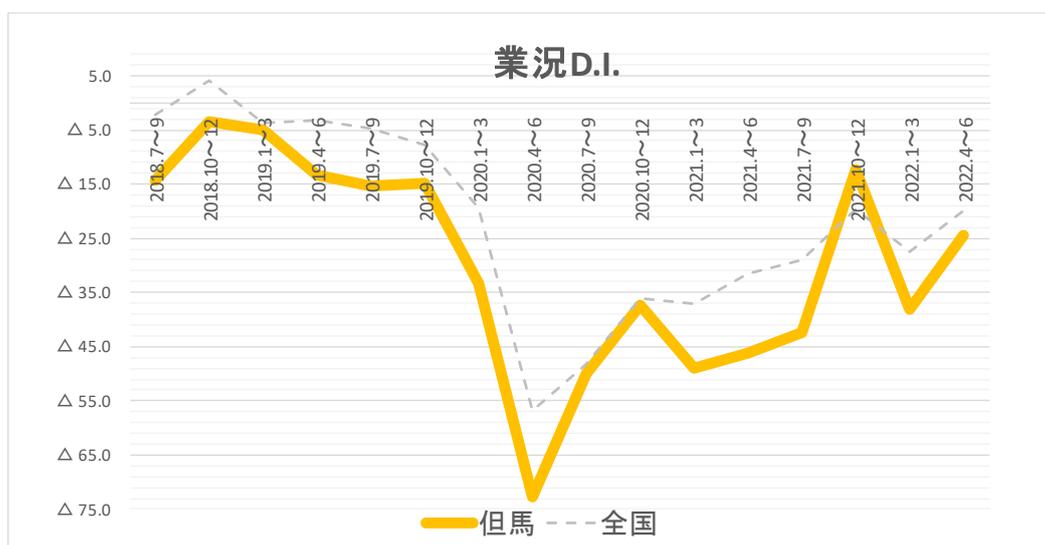
次回(2022年7～9月期)の業況D.I.は△16.9と、小幅ながら改善が予想されている。

全体	2022年4～6月期実績	前四半期比	2022年7～9月期予想
業況D. I.	△ 24.4	13.6	△ 16.9
前年同期比売上額D. I.	10.2	22.6	-
前年同期比収益D. I.	0.6	23.2	-
売上額D. I.	△ 6.4	10.7	0.0
収益D. I.	△ 12.1	15.0	△ 7.5
資金繰りD. I.	△ 17.5	3.5	△ 16.5
借入金の難易度D. I.	△ 8.0	1.8	-
前期比残業時間D. I.	△ 3.0	4.4	△ 3.2
人手過不足D. I.	△ 17.6	△ 1.2	△ 16.1

業種名 \ 時期	2022年 1月～3月	2022年 4月～6月	2022年 7月～9月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数75 前回84）

今回(2022年4～6期)の業況D.I.は△18.7となり、前四半期比9.9ポイントの改善となった。

原材料価格D.I.が57.3であり、依然として原材料価格が高止まっている。また、人手過不足D.I.は△28.0であり、3四半期連続で人手不足感は強まっている。

次回(2022年7～9期)の業況D.I.は△18.7と、今回と同水準の予想であるが、原材料価格は44.0と改善が予想される。

製造業	2022年4～6月期実績	前四半期比	2022年7～9月期予想
業況D.I.	△ 18.7	9.9	△ 18.7
前年同期比売上額D.I.	26.7	20.7	-
前年同期比収益D.I.	1.3	9.7	-
売上額D.I.	△ 5.3	△ 4.1	4.1
受注残D.I.	△ 9.3	△ 7.0	4.1
収益D.I.	△ 29.3	△ 6.7	△ 12.3
販売価格D.I.	24.0	2.6	16.0
原材料価格D.I.	57.3	1.4	44.0
原材料在庫D.I.	2.7	2.7	0.0
資金繰りD.I.	△ 21.3	△ 2.3	△ 16.0
借入金の難易度D.I.	△ 5.4	1.9	-
前期比残業時間D.I.	△ 9.3	△ 10.5	△ 4.0
人手過不足D.I.	△ 28.0	△ 1.5	△ 24.0
現在の設備D.I.	△ 20.0	△ 3.3	-
設備投資D.I.	22.7	△ 3.5	-
来期設備投資D.I.	25.3	2.7	-

3. 建設業（回答数98 前回88）

今回(2022年4～6期)の業況D.I.は△9.3。前四半期比6.6ポイントの改善となった。

今回の材料価格D.I.は73.5、前四半期比+18.9ポイントと大きく増加しており、次回は若干改善が予想される。また、人手過不足D.I.は△21.9と人手不足の傾向にはあるが、前四半期比8.2ポイント改善している。

次回(2022年7～9期)の業況D.I.は、△11.5となっており、今回同様にマイナス水準が予想されている。

建設業	2022年4～6月期実績	前四半期比	2022年7～9月期予想
業況D.I.	△ 9.3	6.6	△ 11.5
前年同期比売上額D.I.	1.0	7.8	-
前年同期比収益D.I.	0.0	17.0	-
売上額D.I.	△ 7.1	8.8	△ 13.3
受注残D.I.	△ 11.2	1.3	△ 18.4
施工高D.I.	1.0	16.9	△ 9.2
収益D.I.	△ 11.2	10.4	△ 18.4
請負価格D.I.	14.3	12.0	13.3
材料価格D.I.	73.5	18.9	58.2
在庫D.I.	△ 5.2	△ 2.8	△ 8.2
資金繰りD.I.	△ 8.2	2.1	△ 10.2
借入金の難易度D.I.	△ 8.4	△ 8.4	-
前期比残業時間D.I.	0.0	4.6	△ 7.1
人手過不足D.I.	△ 21.9	8.2	△ 20.8
現在の設備D.I.	△ 12.2	△ 5.3	-
設備投資D.I.	24.5	1.8	-
来期設備投資D.I.	23.5	△ 2.7	-

4. 卸売業（回答数56 前回53）

今回(2022年4～6期)の業況D.I.が△21.4となり、前四半期比で14.4ポイントの改善となった。

売上額D.I.が3.6、収益D.I.が3.6と共にプラスに転じるのは2019年10～12月期以来である。仕入価格D.I.は50.0と前四半期比0.9ポイント上昇となったが、販売価格D.I.は前四半期比9.8ポイント上昇しており、価格転嫁も予想される結果となった。

次回(2022年7～9期)の業況D.I.は△18.2とやや改善の予想。仕入価格D.I.は46.4と、仕入価格上昇は少し落ち着く見通しとなっている。

卸売業	2022年4～6月期実績	2022年7～9月期予想	
		前四半期比	
業況D.I.	△ 21.4	14.4	△ 18.2
前年同期比売上額D.I.	8.9	20.5	-
前年同期比収益D.I.	0.0	19.2	-
前年同期比販売価格D.I.	35.7	1.1	-
売上額D.I.	3.6	35.6	7.1
収益D.I.	3.6	41.3	3.6
販売価格D.I.	26.8	9.8	33.9
仕入価格D.I.	50.0	0.9	46.4
在庫D.I.	0.0	△ 5.7	△ 1.8
資金繰りD.I.	△ 16.1	△ 2.9	△ 14.3
借入金の難易度D.I.	△ 9.3	0.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 3.6	7.7	1.8
人手過不足D.I.	△ 18.5	△ 5.1	△ 16.7
現在の設備D.I.	△ 12.7	△ 1.4	-
設備投資D.I.	21.4	△ 5.0	-
来期設備投資D.I.	23.2	△ 3.2	-

5. 小売業（回答数77 前回75）

今回(2022年4～6期)の業況D.I.は△42.9と前四半期比14.7ポイントの改善。サービス業に続き大きく改善した。

仕入価格D.I.は41.6と依然高い水準にあるが、販売価格D.I.は前四半期比3.2ポイント上昇しており、販売価格へ転嫁も予想される結果となった。

次回(2022年7～9期)の業況D.I.は△39.5であり、やや改善する予想となっている。

小売業	2022年4～6月期実績	2022年7～9月期予想	
		前四半期比	
業況D.I.	△ 42.9	14.7	△ 39.5
前年同期比売上額D.I.	△ 5.2	22.8	-
前年同期比収益D.I.	△ 15.6	27.1	-
前年同期比販売価格D.I.	39.0	13.6	-
売上額D.I.	△ 17.1	9.6	△ 13.2
収益D.I.	△ 23.4	20.6	△ 26.7
販売価格D.I.	28.6	3.2	29.9
仕入価格D.I.	41.6	△ 2.4	35.1
在庫D.I.	7.8	10.5	1.3
資金繰りD.I.	△ 24.7	3.3	△ 24.7
借入金の難易度D.I.	△ 10.4	1.8	-
前期比残業時間D.I.	△ 6.5	4.2	△ 7.8
人手過不足D.I.	△ 22.4	△ 8.9	△ 19.7
現在の設備D.I.	△ 10.4	2.9	-
設備投資D.I.	16.9	△ 1.8	-
来期設備投資D.I.	22.1	4.7	-

6. 不動産業（回答数 14 前回 16）

今回（2022年4～6期）の業況 D.I.は△28.6となっており、唯一、前四半期比が悪化した業種であった。

在庫 D.I.は前四半期比 8.0 ポイント悪化し、慢性的な在庫不足は解消されていない。

また、借入金の難易度 D.I.は△7.1 と、前四半期比 7.1 ポイント改善し、資金調達面でも改善が見込まれる状況であることが窺える。

次回（2022年7～9期）の業況 D.I.は△28.6となっており、横ばいにて推移することが予想されている。

不動産業	2022年4～6月期実績	前四半期比	2022年7～9月期予想
業況D.I.	△ 28.6	△ 9.8	△ 28.6
前年同期比売上額D.I.	15.4	22.1	-
前年同期比収益D.I.	7.7	14.4	-
売上額D.I.	7.1	7.1	△ 7.1
収益D.I.	0.0	0.0	△ 7.1
販売価格D.I.	0.0	△ 6.3	0.0
仕入価格D.I.	7.1	0.9	7.1
在庫D.I.	△ 14.3	△ 8.0	△ 14.3
資金繰りD.I.	0.0	12.5	0.0
借入金の難易度D.I.	△ 7.1	7.1	-
前期比残業時間D.I.	7.1	13.4	7.1
人手過不足D.I.	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1

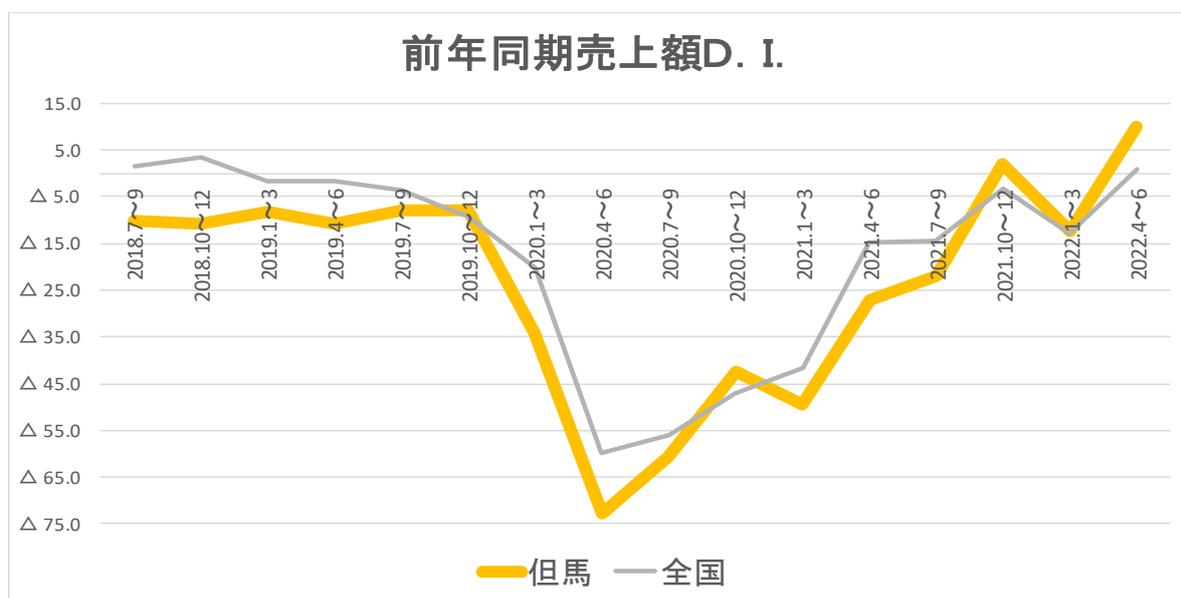
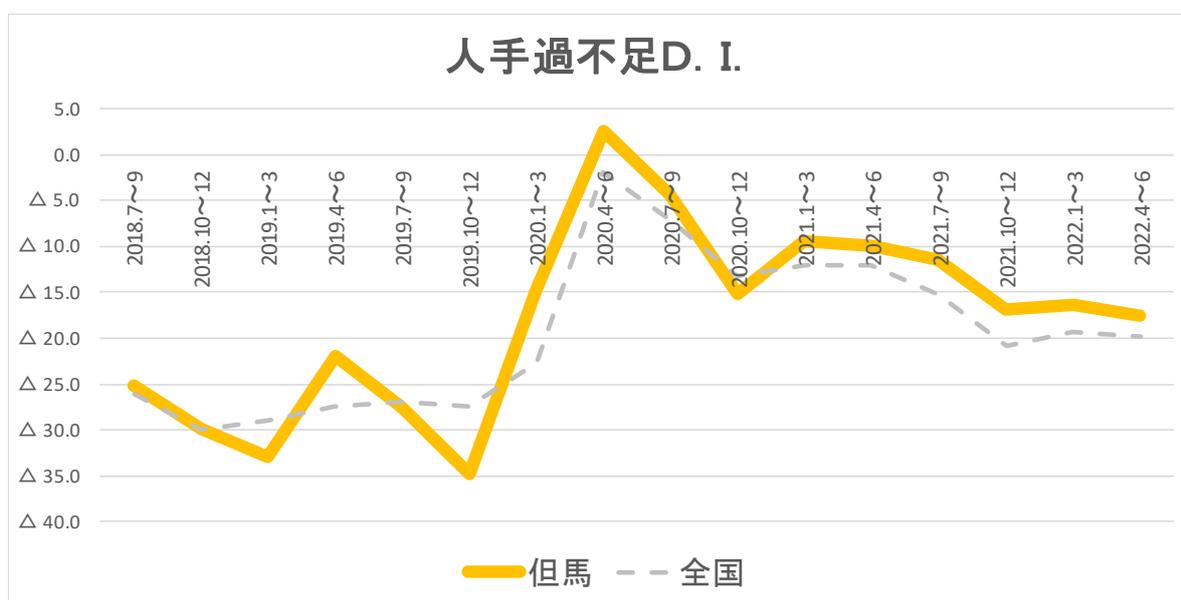
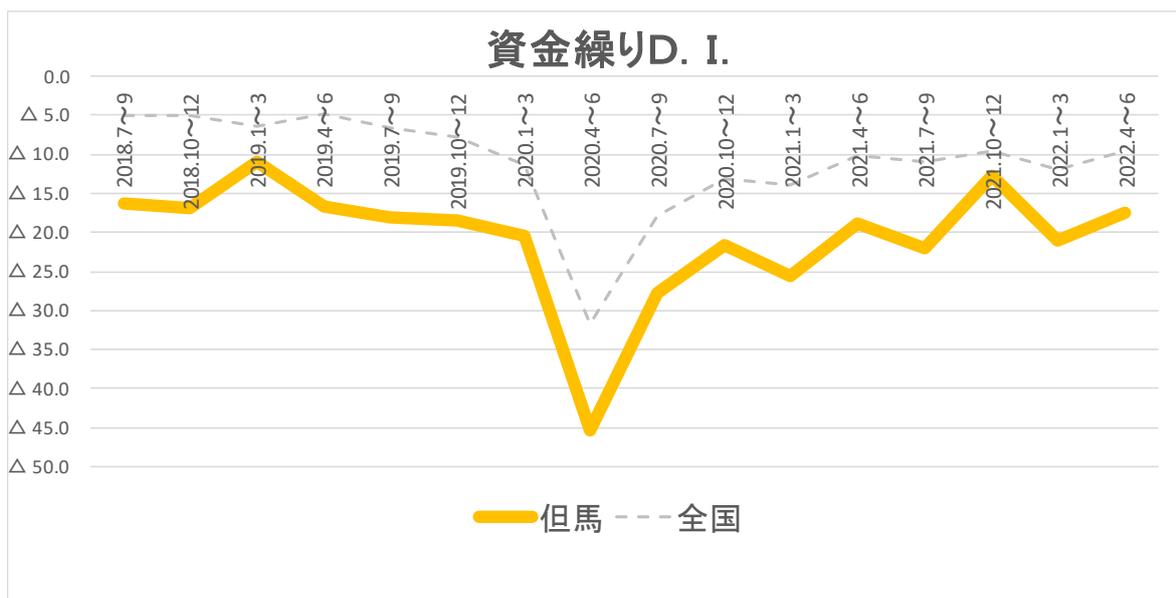
7. サービス業（回答数 153 前回 146）

今回（2022年4～6期）の業況 D.I.は△28.3と前四半期比 21.7 の改善と、全業種の中で最も大きく改善した。

材料価格 D.I.が 51.0と前四半期に引続き高止まりの傾向ではあるが、前年同期比売上額 D.I.が 15.7、前年同期比収益 D.I.が 8.5 と、それぞれ前四半期比大きく改善したことが影響したものと考えられる。

次回（2022年7～9期）の業況 D.I.は△6.6と今回に続き大きく改善することが予想されている。

サービス業	2022年4～6月期実績	前四半期比	2022年7～9月期予想
業況D.I.	△ 28.3	21.7	△ 6.6
前年同期比売上額D.I.	15.7	34.9	-
前年同期比収益D.I.	8.5	35.2	-
売上額D.I.	△ 5.9	12.6	11.2
収益D.I.	△ 5.2	18.1	7.2
料金価格D.I.	7.2	△ 15.4	13.2
材料価格D.I.	51.0	1.0	48.7
資金繰りD.I.	△ 20.9	8.5	△ 19.1
借入金の難易度D.I.	△ 7.3	8.0	-
前期比残業時間D.I.	△ 0.7	10.3	△ 0.7
人手過不足D.I.	△ 7.9	△ 1.0	△ 8.0
現在の設備D.I.	△ 22.4	△ 0.3	-
設備投資D.I.	25.5	4.9	-
来期設備投資D.I.	32.0	4.6	-



業種別 D I 等の推移表

製造業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合			
		売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格							
2021.1~3	△ 45.6	△ 49.4	△ 50.6	△ 44.4	△ 38.2	△ 46.1	△ 3.4	21.3	△ 1.1	△ 18.0	△ 23.6	△ 9.0	△ 1.1	△ 20.2	26.7
2021.4~6	△ 49.4	△ 20.5	△ 20.7	△ 33.7	△ 36.1	△ 37.3	1.2	38.6	2.4	△ 15.7	△ 15.7	△ 12.2	△ 8.5	△ 15.7	33.7
2021.7~9	△ 46.9	△ 13.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 26.5	△ 34.9	6.0	48.2	1.2	△ 20.5	△ 8.4	△ 22.9	△ 9.8	△ 28.4	26.5
2021.10~12	△ 17.9	2.4	4.8	20.2	17.9	15.5	19.0	52.4	1.2	△ 19.0	8.3	△ 21.4	△ 4.8	△ 17.9	22.6
2022.1~3	△ 28.6	6.0	△ 8.3	△ 1.2	△ 2.4	△ 22.6	21.4	56.0	0.0	△ 19.0	1.2	△ 26.5	△ 7.3	△ 16.7	26.2
2022.4~6	△ 18.7	26.7	1.3	△ 5.3	△ 9.3	△ 29.3	24.0	57.3	2.7	△ 21.3	△ 9.3	△ 28.0	△ 5.4	△ 20.0	22.7
2022.7~9	△ 18.7														

建設業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合				
		売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格								
2021.1~3	△ 14.6	△ 22.0	△ 14.6	△ 15.9	△ 12.2	△ 7.3	△ 8.5	△ 4.9	8.5	0.0	△ 13.4	△ 4.8	△ 25.3	△ 6.2	△ 13.3	27.7
2021.4~6	△ 23.0	△ 10.5	△ 10.5	△ 11.5	△ 18.4	△ 12.6	△ 16.1	△ 11.5	27.6	0.0	0.0	△ 6.9	△ 22.6	△ 4.7	△ 12.6	24.1
2021.7~9	△ 16.8	△ 5.3	△ 7.4	△ 4.2	△ 2.1	3.2	△ 8.4	△ 6.3	27.4	△ 2.1	△ 15.8	0.0	△ 14.1	△ 7.7	△ 16.0	24.2
2021.10~12	4.4	5.4	△ 3.3	5.4	1.1	3.3	△ 1.1	7.6	35.9	△ 4.3	△ 4.3	△ 2.2	△ 17.6	△ 4.4	△ 15.2	27.2
2022.1~3	△ 15.9	△ 6.8	△ 17.0	△ 15.9	△ 12.5	△ 15.9	△ 21.6	2.3	54.5	△ 2.3	△ 10.2	△ 4.6	△ 30.1	0.0	△ 6.9	22.7
2022.4~6	△ 9.3	1.0	0.0	△ 7.1	△ 11.2	1.0	△ 11.2	14.3	73.5	△ 5.2	△ 8.2	0.0	△ 21.9	△ 8.4	△ 12.2	24.5
2022.7~9	△ 11.5															

卸売業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合				
		売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格								
2021.1~3	△ 59.2	△ 59.2	△ 63.3	△ 10.2	△ 49.0	△ 46.9	△ 12.2	△ 2.0	14.3	△ 26.5	△ 24.5	△ 10.4	△ 8.5	△ 20.4	38.8	
2021.4~6	△ 56.0	△ 30.0	△ 34.0	△ 16.0	△ 38.0	△ 38.0	△ 16.0	6.0	8.0	△ 18.4	△ 22.0	△ 4.0	△ 10.2	△ 8.0	28.0	
2021.7~9	△ 44.4	△ 5.6	△ 18.5	16.7	△ 11.1	△ 24.1	7.4	22.2	1.9	△ 20.8	△ 20.4	△ 9.4	△ 13.0	△ 11.1	20.4	
2021.10~12	△ 16.4	14.5	10.9	27.3	△ 13.0	△ 11.1	20.4	35.2	1.9	△ 17.0	0.0	△ 14.5	△ 12.7	△ 3.6	23.6	
2022.1~3	△ 35.8	△ 11.5	△ 19.2	34.6	△ 32.1	△ 37.7	17.0	49.1	5.7	△ 13.2	△ 11.3	△ 13.5	△ 9.4	△ 11.3	26.4	
2022.4~6	△ 21.4	8.9	0.0	35.7	3.6	3.6	26.8	50.0	0.0	△ 16.1	△ 3.6	△ 18.5	△ 9.3	△ 12.7	21.4	
2022.7~9	△ 18.2															

小売業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合				
		売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格								
2021.1~3	△ 63.5	△ 64.0	△ 52.0	△ 6.7	△ 48.0	△ 44.0	2.7	9.3	4.0	△ 28.0	△ 16.0	1.3	△ 23.0	△ 12.2	18.7	
2021.4~6	△ 51.9	△ 26.6	△ 24.1	1.3	△ 45.6	△ 41.8	△ 1.3	10.1	1.3	△ 24.1	△ 16.5	△ 3.8	△ 20.3	△ 13.9	16.5	
2021.7~9	△ 46.6	△ 36.5	△ 32.4	4.1	△ 31.1	△ 33.8	5.4	16.2	2.7	△ 24.3	△ 15.1	△ 5.5	△ 17.8	△ 13.5	13.5	
2021.10~12	△ 35.6	△ 14.9	△ 13.5	13.5	0.0	△ 1.4	18.9	27.0	△ 1.4	△ 18.9	△ 4.1	△ 13.5	△ 15.1	△ 12.3	17.6	
2022.1~3	△ 57.5	△ 28.0	△ 42.7	25.3	△ 26.7	△ 44.0	25.3	44.0	△ 2.7	△ 28.0	△ 10.7	△ 13.5	△ 12.2	△ 13.3	18.7	
2022.4~6	△ 42.9	△ 5.2	△ 15.6	39.0	△ 17.1	△ 23.4	28.6	41.6	7.8	△ 24.7	△ 6.5	△ 22.4	△ 10.4	△ 10.4	16.9	
2022.7~9	△ 39.5															

サービス業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度	現在の 設 備	設備投資 実施割合				
		売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り								
2021.1~3	△ 59.9	△ 55.6	△ 53.0	△ 48.7	△ 47.4	△ 4.6	2.0	△ 37.5	△ 19.7	△ 6.6	△ 8.8	△ 17.9	18.4			
2021.4~6	△ 52.6	△ 39.5	△ 41.4	△ 51.3	△ 50.7	△ 10.5	3.3	△ 30.9	△ 21.7	△ 7.3	△ 11.2	△ 22.4	23.7			
2021.7~9	△ 52.7	△ 33.1	△ 34.5	△ 28.8	△ 28.1	0.7	11.0	△ 27.4	△ 11.0	△ 7.7	△ 9.7	△ 24.7	19.9			
2021.10~12	△ 4.1	8.3	0.0	31.0	22.8	21.4	34.5	△ 10.3	6.3	△ 18.1	△ 6.4	△ 22.9	26.2			
2022.1~3	△ 50.0	△ 19.2	△ 26.7	△ 18.5	△ 23.3	22.6	50.0	△ 29.5	△ 11.0	△ 6.9	△ 15.3	△ 22.1	20.5			
2022.4~6	△ 28.3	15.7	8.5	△ 5.9	△ 5.2	7.2	51.0	△ 20.9	△ 0.7	△ 7.9	△ 7.3	△ 22.4	25.5			
2022.7~9	△ 6.6															

不動産業	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度						
		売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫								
2021.1~3	△ 42.9	△ 28.6	△ 50.0	△ 21.4	△ 35.7	△ 23.1	0.0	△ 23.1	0.0	0.0	0.0	14.3				
2021.4~6	△ 37.5	△ 25.0	△ 46.7	△ 43.8	△ 50.0	△ 12.5	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 6.3	6.3				
2021.7~9	△ 47.1	△ 47.1	△ 35.3	△ 52.9	△ 52.9	△ 11.8	6.3	△ 20.0	△ 17.6	△ 29.4	△ 5.9	△ 5.9				
2021.10~12	△ 35.7	△ 50.0	△ 42.9	△ 7.1	△ 28.6	△ 14.3	0.0	△ 21.4	△ 14.3	△ 14.3	0.0	7.1				
2022.1~3	△ 18.8	△ 6.7	△ 6.7	0.0	0.0	6.3	6.3	△ 6.3	△ 12.5	△ 6.3	0.0	△ 14.3				
2022.4~6	△ 28.6	15.4	7.7	7.1	0.0	0.0	7.1	△ 14.3	0.0	7.1	△ 7.1	△ 7.1				
2022.7~9	△ 28.6															

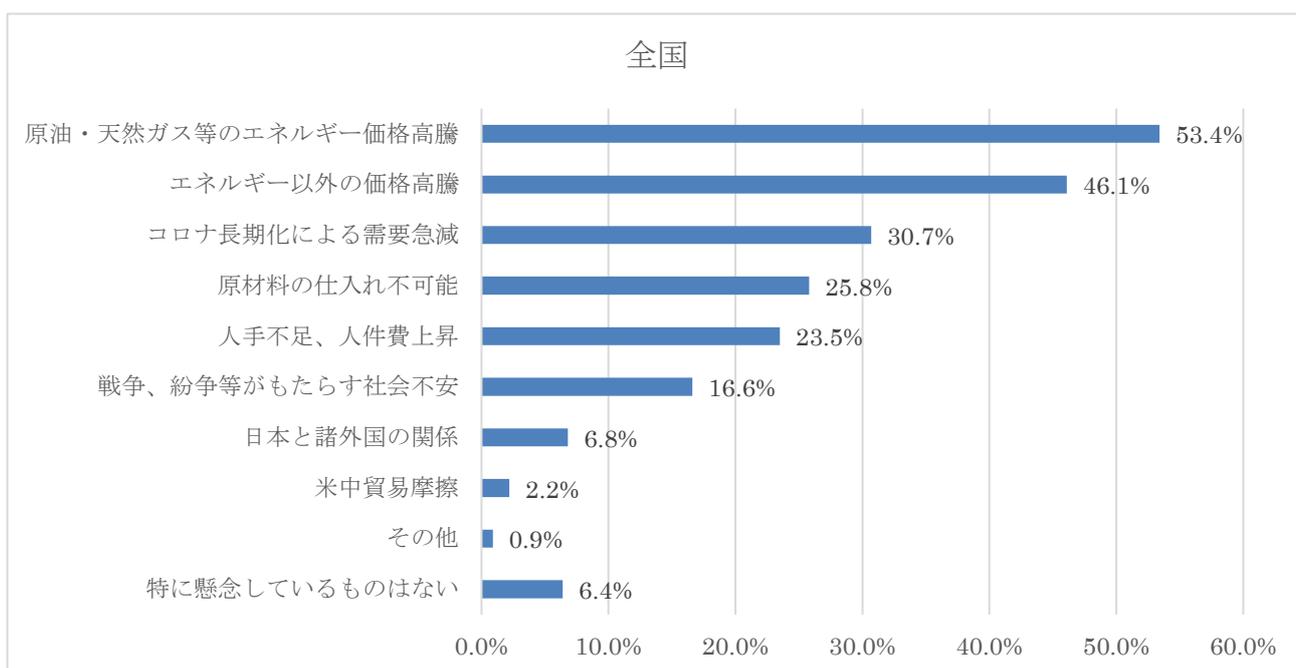
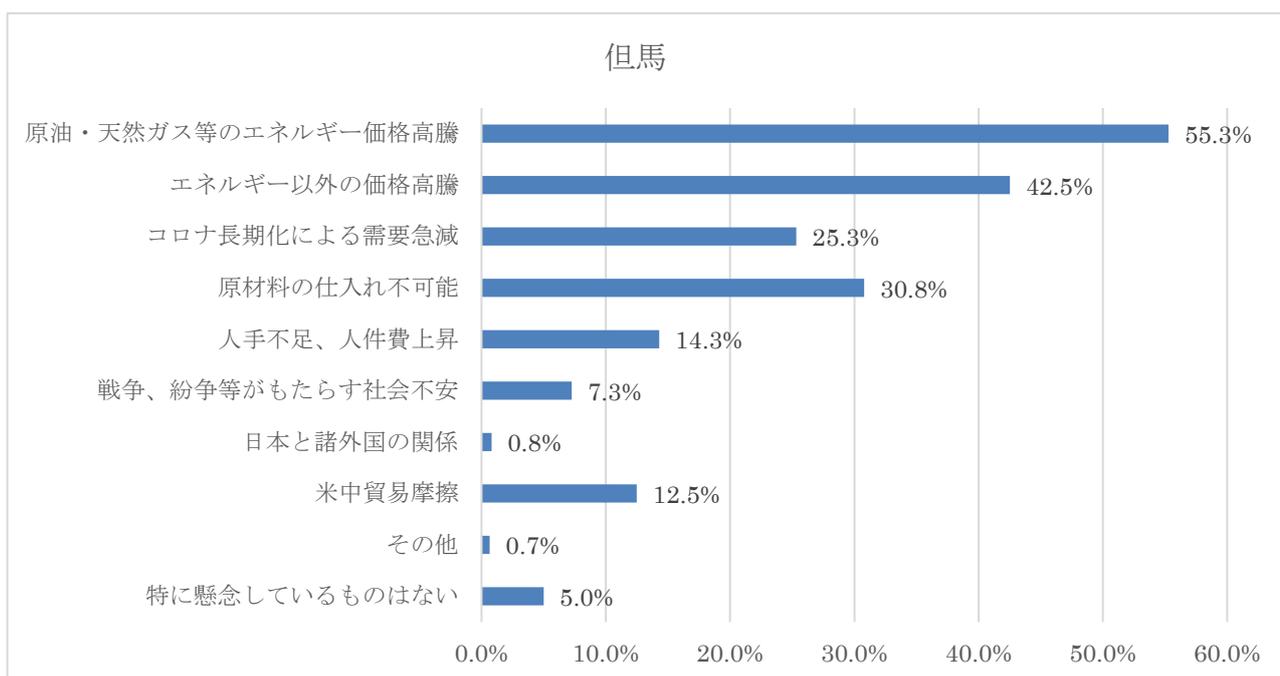
全業種	業況	前年同期に比べた							前期比 残業時間	借入金 の 難易度						
		売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	資金繰り	人手								
2018.4~6	△ 16.4	△ 11.9	△ 16.9	△ 17.4	△ 15.8	△ 20.0	△ 1.0	△ 31.9	△ 4.0							
2018.7~9	△ 14.2	△ 10.2	△ 12.7	△ 4.1	△ 3.0	△ 16.2	△ 0.5	△ 25.2	△ 8.9							
2018.10~12	△ 3.4	△ 10.7	△ 14.4	13.4	6.2	△ 16.8	6.9	△ 29.9	△ 8.2							
2019.1~3	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3							
2019.4~6	△ 13.2	△ 10.8	△ 10.6	△ 7.9	△ 13.7	△ 16.6	△ 7.1	△ 21.9	△ 8.6							
2019.7~9	△ 15.3	△ 7.8	△ 11.2	△ 3.7	△ 8.7	△ 18.0	△ 3.9	△ 27.5	△ 8.5							
2019.10~12	△ 14.9	△ 7.8	△ 14.7	0.3	△ 3.0	△ 18.5	0.0	△ 34.8	△ 13.2							
2020.1~3	△ 33.3	△ 34.1	△ 33.9	△ 27.5	△ 28.0	△ 20.4	△ 9.5	△ 14.9	△ 11.4							
2020.4~6	△ 72.7	△ 72.9	△ 70.8	△ 70.2	△ 68.6	△ 45.4	△ 41.3	2.6	△ 8.8							
2020.7~9	△ 50.0	△ 60.8	△ 58.9	△ 26.7	△ 28.3	△ 27.8	△ 25.9	△ 4.3	△ 8.1							
2020.10~12	△ 37.3	△ 42.5	△ 41.3	△ 14.3	△ 17.1	△ 21.7	△ 16.2	△ 15.3	△ 8.3							
2021.1~3	△ 49.0	△ 49.3	△ 46.5	△ 41.1	△ 39.3	△ 25.6	△ 17.1	△ 9.4	△ 8.4							
2021.4~6	△ 46.3	△ 27.0	△ 28.4	△ 38.1	△ 39.0	△ 18.9	△ 16.3	△ 10.0	△ 10.3							
2021.7~9	△ 42.3	△ 21.8	△ 24.5	△ 22.2	△ 26.7	△ 22.0	△ 10.7	△ 11.5	△ 10.8							
2021.10~12	△ 12.3	1.9	△ 1.9	12.7	7.3	△ 12.8	1.9	△ 16.9	△ 7.4							
2022.1~3	△ 38.0	△ 12.4	△ 22.6	△ 17.1	△ 27.1	△ 21.0	△ 7.4	△ 16.4	△ 9.7							
2022.4~6	△ 24.4	10.2	0.6	△ 6.4	△ 12.1	△ 17.5	△ 3.0	△ 17.6	△ 8.0							
2022.7~9	△ 16.9															

全国	業況	前年同期に比べた														
		売上額	収益	資金繰り	人手											
2018.4~6	△ 2.5	0.7	△ 4.0	△ 4.0	△ 26.0											
2018.7~9	△ 2.1	1.5	△ 3.1	△ 5.1	△ 26.0											
2018.10~12	4.0	3.6	△ 1.1	△ 5.0	△ 29.9											
2019.1~3	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4	△ 28.9											
2019.4~6	△ 3.3	△ 1.7	△ 4.7	△ 4.9	△ 27.4											
2019.7~9	△ 4.7	△ 3.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 27.0											
2019.10~12	△ 7.8	△ 9.4	△ 11.9	△ 7.8	△ 27.4											
2020.1~3	△ 19.3	△ 20.3	△ 20.9	△ 11.3	△ 22.7											
2020.4~6	△ 56.9	△ 59.9	△ 58.9	△ 31.8	△ 2.0											
2020.7~9	△ 48.3	△ 56.1	△ 54.6	△ 17.9	△ 7.2											
2020.10~12	△ 36.2	△ 47.0	△ 44.9	△ 13.2	△ 13.3											
2021.1~3	△ 37.1	△ 41.7	△ 40.1	△ 14.0	△ 12.1											
2021.4~6	△ 31.6	△ 14.7	△ 16.8	△ 10.2	△ 12.1											
2021.7~9	△ 29.1	△ 14.5	△ 17.2	△ 11.0	△ 15.3											
2021.10~12	△ 19.7	△ 3.4	△ 10.6	△ 9.6	△ 20.8											
2022.1~3	△ 27.6	△ 12.8	△ 20.4	△ 12.0	△ 19.4											
2022.4~6	△ 19.9	0.8	△ 11.8	△ 9.6	△ 19.8											
2022.7~9	△ 18.9															

《特別調査》 コロナ、原材料・仕入価格高騰、海外情報の圧迫化を受けて

【問1】最近の経済社会情勢についての懸念事項について

「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」が但馬では55.3%、全国では53.4%となり、「エネルギー以外の価格高騰」が但馬では42.5%、全国では46.1%とほぼ同様の傾向となった。一方、但馬では「原材料の仕入れ不可能」が30.8%と全国と比べ5%高い結果となっており、原材料の仕入に懸念を持つ企業が全国より多い結果となった。

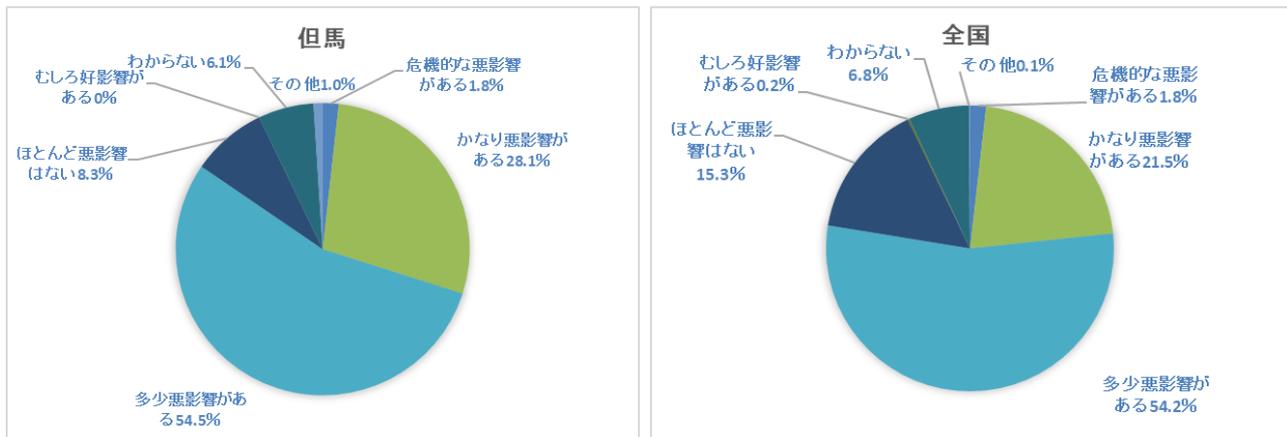


【問2】原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇の影響について

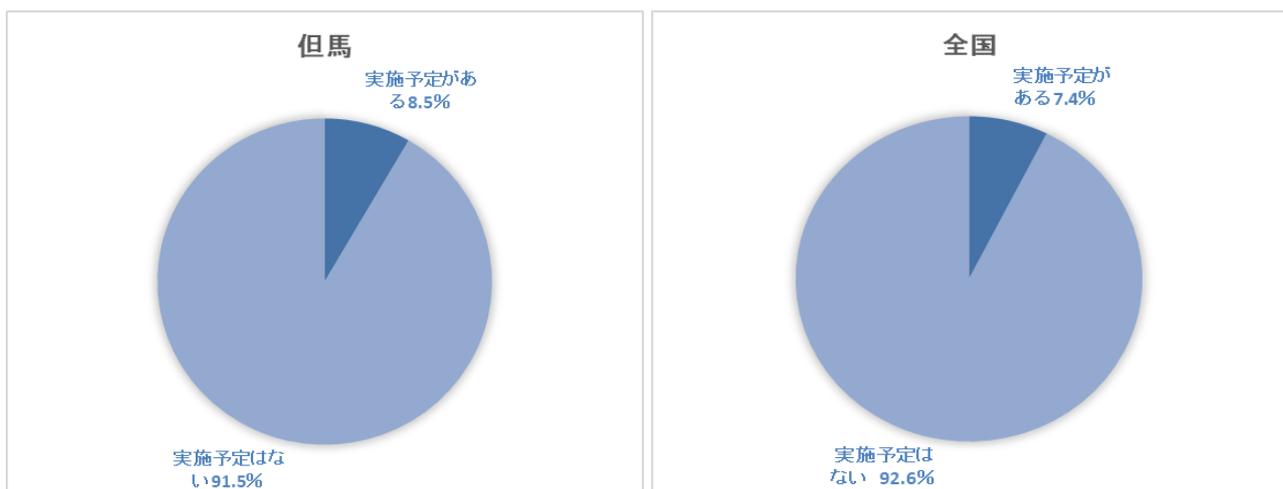
最近のエネルギー価格の上昇による収益への影響について、「危機的な悪影響がある」が但馬・全国ともに 1.8%となり、「かなり悪影響がある」が但馬では 28.1%、全国では 21.5%、「多少悪影響がある」が但馬では 54.5%、全国では 54.2%となった。これらから、何らかの影響があった企業の合計では但馬で 84.4%と全国の 77.5%を 6.9%上回る結果となった。

省エネ設備投資の実施予定については、「実施予定がある」は但馬で 8.5%、全国で 7.4%となっており、「実施予定はない」は但馬で 91.5%、全国で 92.6%となり、但馬・全国同様の傾向となった。

〈エネルギー価格の上昇について〉



〈省エネ設備の実施予定〉

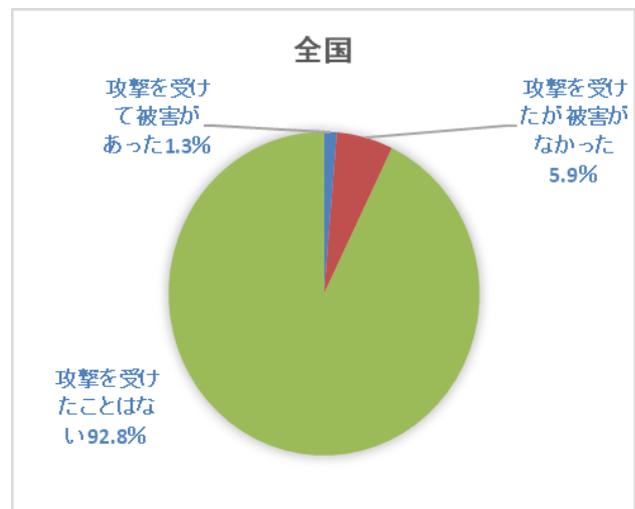
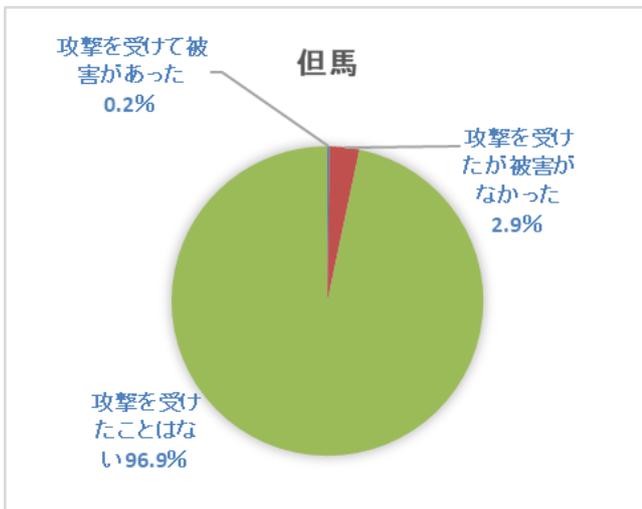


【問3】サイバーセキュリティへの態勢について

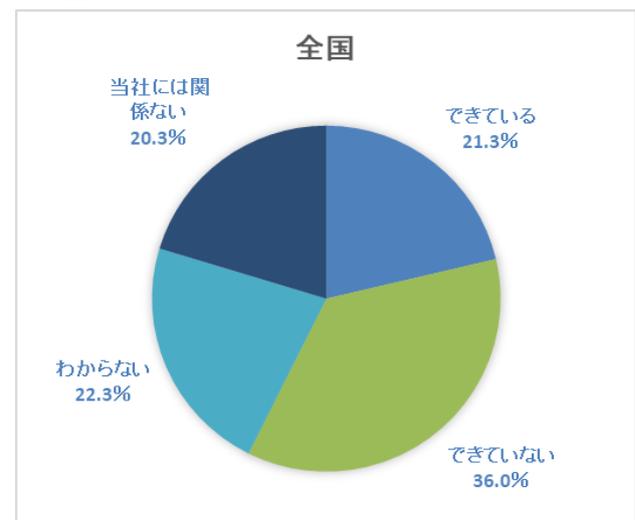
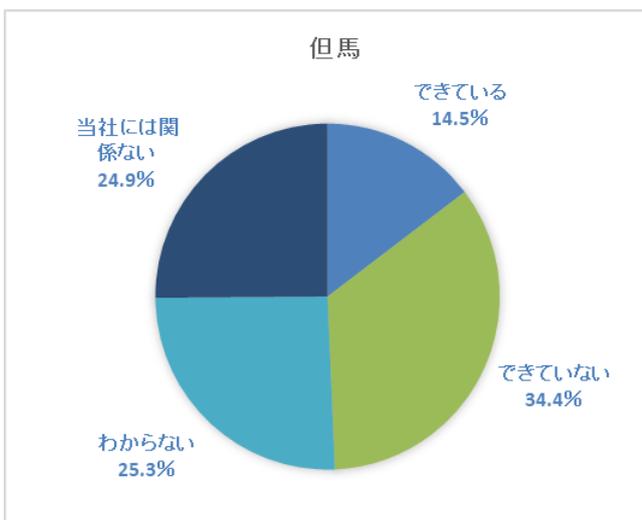
サイバー攻撃による被害については、「攻撃を受けて被害があった」「攻撃を受けたが被害はなかった」と何らかの攻撃を受けた企業は但馬で 3.1%に対し全国は 7.2%となっており、但馬は全国と比べ攻撃を受けた企業は 4.1%下回った。

サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢の整備では、但馬は「できている」は 14.5%にとどまり、全国の 21.3%と比較しても 6.8%少ない結果となった。一方「できてない」「わからない」「当社には関係ない」とする企業が但馬では 84.6%と全国の 78.6%を上回る結果となっており、但馬では被害が少ないことから態勢・整備が遅れていることが窺える結果となった。

〈サイバー攻撃による被害〉



〈サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢の整備〉

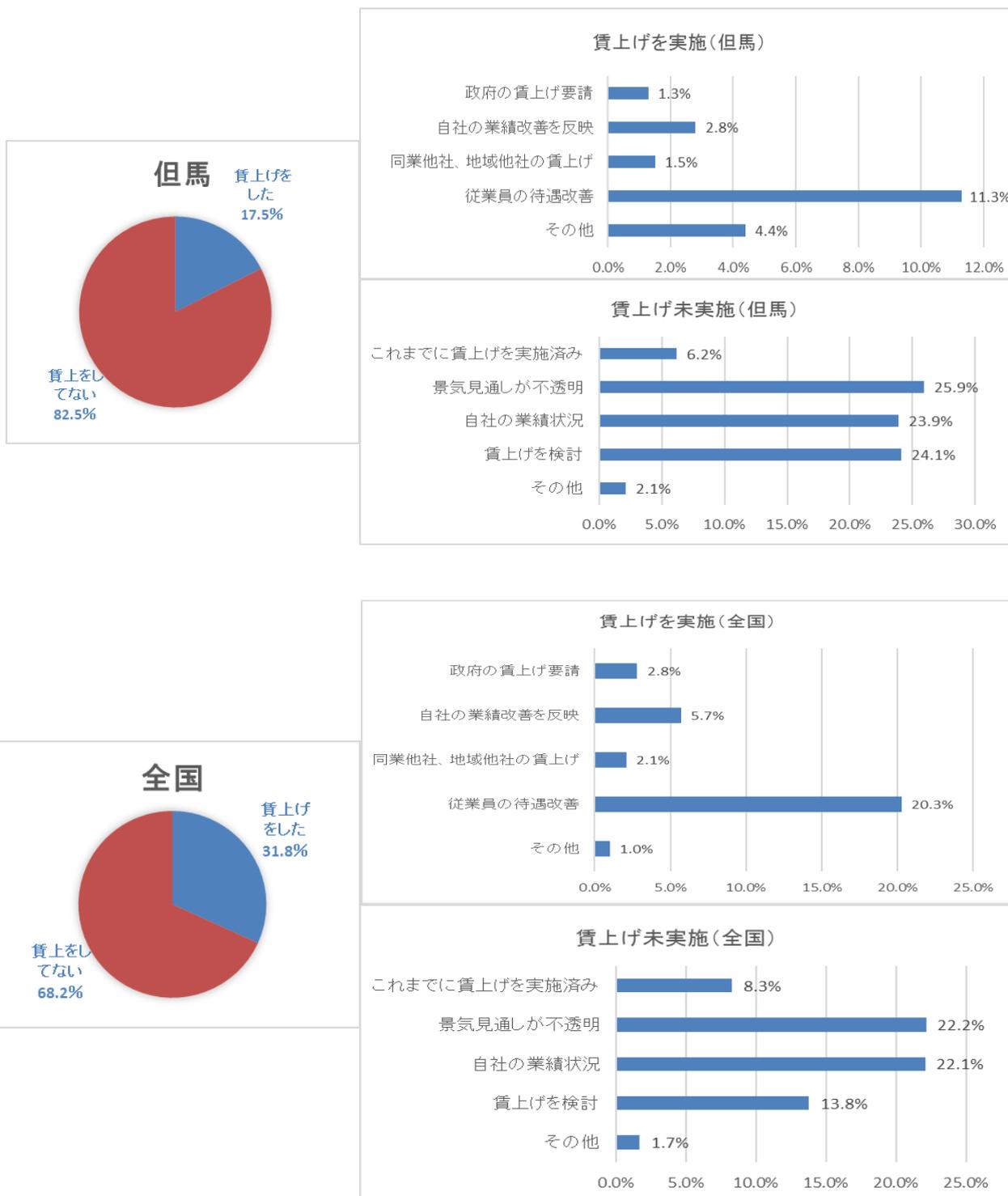


【問4】但馬管内の企業の賃上げ状況について

今春の賃上げについて但馬は17.5%が実施したと回答したが、全国の31.8%を下回る結果となった。

賃上げ実施の主要因はいずれも「従業員の待遇改善」の割合が高く但馬では11.3%、全国では20.3%となった。

一方、未実施と回答した理由では但馬、全国ともに「景気見通しが不透明」「自社の業績状況」を主の理由とする傾向があったが、但馬では「今後、賃上げを検討」と回答した企業が全国を上回る結果となった。



【問5】コロナ禍における事業承継について

コロナ禍を受けて事業承継(M&Aを含む)の考え方について、「事業承継の方法に変更はない」が但馬は50.3%、全国は51.9%となり、「事業承継について考えたことがない」が但馬は34.3%、全国は33.8%となり、但馬・全国同様の傾向となった。一方「事業承継の検討を始めた」「事業承継の時期を早める」「事業承継の時期を遅くする」との回答が但馬・全国ともに一定数確認でき、コロナ禍を受けて事業承継の方向性に変化があったことが窺える結果となった。

